



# 30 | 0はいくつ続く

なまえ  
名前

- 10は数字の最後に0が1個あります。2000は数字の最後に0が3個あります。それでは、1から50までの数をすべてかけた数には数字の最後に0が何個あるか答えましょう。

かいせつ



10は $2 \times 5$ に分けられ、2000は $2 \times 2 \times 5 \times 2 \times 5 \times 2 \times 5$ に分けられるよ。

このことから、0の数は「 $2 \times 5$ の組み合わせの数」で決まることが分かるね。

$1 \times 2 \times 3 \times \dots \times 50$ の中に、2は2 そのものだけでなく、

$4 = 2 \times 2$ 、 $6 = 3 \times 2$ 、 $8 = 2 \times 2 \times 2$ のように、いろいろな数の中に分けて入っているよ。

そのため、このかけ算の中に、「 $15 = 3 \times 5$ 」のように $\times 5$ が1つ出てくると、

その $\times 5$ は、どこかにある $\times 2$ と組になって、必ず10を作ることができるよ。

このかけ算では、 $\times 2$ より $\times 5$ の方が少ないから、5の倍数（ $\times 5$ ）がいくつあるかを考えよう！

このかけ算にある5の倍数は、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50の10こだね。

でも、25は $5 \times 5$ 、50は $2 \times 5 \times 5$ に分けられるから、他の5の倍数より $\times 5$ をもう1こずつ多くもっているよ。

5の倍数は10こあり、25と50にもう1こずつ多くある $\times 5$ の分をたすので、答えは12こになるね！

こた  
答え

12

こ

思考力・脳トレ小学生学習プリント

RISU



RISU × 幼児・小学生・中学生向けの無料学習プリントサイト  
学習プリント.com

コラボ教材

思考力・脳トレ 小学生学習プリント

ただ今、RISUは1週間お試しキャンペーン中！

詳しくは右のQRコードからご覧ください。  
お試しにはクーポンコード「gsp07a」を入力下さい。

